



町長就任のごあいさつ

野木町長 真瀬 宏子

私は、この度、多くの皆さまのご支援をいただき、町長三期目を迎えることが出来ました。今こそ初心を忘れず、慢心を排して進むことが最も大切であると強く心に命じております。

さて、野木町は首都60キロ圏域でもまだ自然が残る緑豊かな町だと思います。約4割が農地であり、わが町の主たる産業ともなっています。また、残りのエリアは住宅地、商工業用地、平地林や遊水地等の自然景観地域で、それぞれ程よく三分の一位ずつを占め、バランスの取れたコンパクトな町でもあります。この調和を崩すことなく、より明るく輝く町に向けて、しっかりと方向性を示しながら実行・実現を図ることが、今、私に課せられた大きな課題であると思っております。

その課題の解決策として三重点施策を掲げて皆さまと共に今後も歩んでまいりたいと思います。まず第一弾として少子高齢化対策では、「子育てしやすく高齢者も住みやすいやさしい町」の実現に全力で当たります。次に町の活性化策としては、「工業団地へ

の企業誘致による雇用の確保や野木町煉瓦窯や遊水地への観光客導入」に力を入れていきます。また、安全安心のまちづくり策では防災行政無線設置や防災体制の確立など「災害に強いまちづくり」と新四号国道や小山市との連絡道路の早期完成など「インフラ整備」に努めてまいります。もちろん従前より力を入れてきました「教育と福祉」については促進を図り、さらに文化の薫り高い町をめざします。また健康者もお体の弱い方も、若いファミリーも高齢者も、「共に支えあう」社会の実現に努力いたします。

そのためにも人と人とのネットワークづくりや連携の強化が重要だと考えます。これは行政だけで出来ることではなく、町民や企業、団体との「協働」による町づくりを推進して初めて可能になる事と思っております。小さい野木町だからこそ、きつと出来ると思っております。

町民の皆さまのさらなるご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。町長就任のご挨拶といたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。